

愛野地域審議会

答 申 書

平成28年3月29日

愛野地域審議会

目次

「農業の振興について」・・・P 1

「幹線道路の整備について」・・・P 2

「都市機能の充実について」・・・P 3

答 申 書

雲仙市長 金澤 秀三郎 様

平成27年5月18日付けで諮問のあった事項について、当地域審議会において審議した結果、下記のとおり答申いたします。

記

新市建設計画(総合計画)の執行状況に関する事項について

[農業の振興について]

農業所得の低下により、農業を志す者が減少傾向にあるだけでなく、現業の農業従事者においても、農業の規模縮小又は廃止により、子供に農業を継がせることができない農家が多くなっています。農業は、雲仙市の基幹産業であり、また本地域の馬鈴薯は全国的にも知られており、その衰退は本市に多大な影響を与えるものであると考えられるため、下記のとおり農業の振興を図る必要があります。

- ・小中学校などの職場体験や総合活動の機会を活かし、児童・生徒が農業に触れる機会を増加させ、農業への関心を育むとともに、農業の喜びを感じさせるカリキュラム作りが必要です。

- ・優良なアイデアや志ある農業者に対し、手厚く支援を実施できるように、現在の認定農業者制度のより一層の充実が必要です。
- ・農繁期など、スポット的に労働力を補強することで、農業従事者の支援を図るとともに、交流人材の拡大を図る制度の創設を望みます。

[幹線道路の整備について]

本地域を起点とした市内の幹線道路の状況は、北部地域の国見町にかけては、国道251号線や広域農道が延びております。また、アクセスの集中により、慢性的な交通渋滞が問題となっておりましたが、愛野森山バイパスの開通など道路状況の改善により、渋滞に関する問題は解消されつつあります。さらに、現在工事中である、地域高規格道路島原道路が完成することにより、交通の利便性が更に向上することが期待されます。

一方、本市西側の小浜町までは主要な道路が、国道57号線だけしか整備されておらず、代替道路が無く交通事故などが発生した場合は長時間渋滞が生ずることもあり、物流及び観光などの大きな障害となっています。また、災害時や緊急の際の対応が、住民にとって大きな不安材料となっております。

- ・本市西側の幹線道路の整備については、交通混雑の解消・地域住民の利便性向上だけではなく、観光客など交流人口増加による沿線地域の社会・経済活動等に寄与するとともに、緊急時の対応にも不可欠であり整備が必要です。

[都市機能の充実にについて]

地理的位置及び交通の利便性の向上、上下水道の整備等により宅地開発や大型店舗、娯楽施設等の進出が急速に進み、定住人口が増加しています。これにより、必要とされる都市機能の様態は変化しつつあり、対応が求められます。

- ・生活道路や歩道等の整備促進に併せ、山が少ない本地域では、雨水の貯水機能が乏しく、住家への影響が懸念されるため、排水路等計画的な整備が必要です。
- ・生活利便施設の集積等、人の集う調和の取れた市街地形成が継続して求められます。

なお、本計画は新市を建設していくため、長期的視野に立って策定されたものであり、本答申で指摘した事項を始め、市が行う諸施策の展開については、健全な財政運営を常に心がけ、地域や市民と協働のもと、計画に示される将来像の実現に向けた弛まぬ努力を行なっていく必要があります。

地域振興に関する事項について

別紙、提言書のとおりとする。

平成28年3月29日

愛野地域審議会
会長 松浦 末利